

☆クイズ☆ わたしはだれでしょう？

あし



くちばし



つばさ



ヒント♪とっても細くて長い足だよ。

答えは正解の動物近くに掲示してあります。

獣医つれづれ日記 vol.4

真冬のある日、動物病院に持ち込まれたのは手のひらサイズのアカウミガメ。えりも岬に漂着し、凍死寸前のところを心優しく地元の方に拾われたのでした。しかし子ガメは仮死状態。「ダメかも。」と思いつつ、事務所のストーブの前に水槽を置き、カメ用ヒーターで適温25℃までじわじわ温めてみると…。なんと、元気に動き出したではありませんか。チビなのにすごい生命力、さすが大海原を行くアカウミガメ。



エサは、園内でよく使うホッケの切り身をいたく気に入った様子。せっかく買ったカメのエサを全く食べてくれません。これでは栄養が偏ってしまう、と仕方なく、エビ、イカ、アサリまで与えることに。この贅沢モノ、と思いつつ、竜宮城への下心…。

子ガメはその後、動物病院のタライの中に居を移し、無邪気に泳ぎつつ、日々成長しています。近いうちに私が南の島に出張して放流する予定…だといいいのですが。

獣医師 M・S

おびひろ動物園情報誌 Zoo Zoom おびひろ 平成25年度春号

発行日 平成25年4月27日

編集・発行 おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地

TEL:0155-24-2437 E-mail:zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

ホームページ: <http://www.obihirozoo.jp/>

公式ブログ: <http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/>

公式ブログ
携帯はコチラ
から



Zoo Zoom おびひろ

平成25年度
春号



アミメキリンの「ムサシ」（オス・16才）

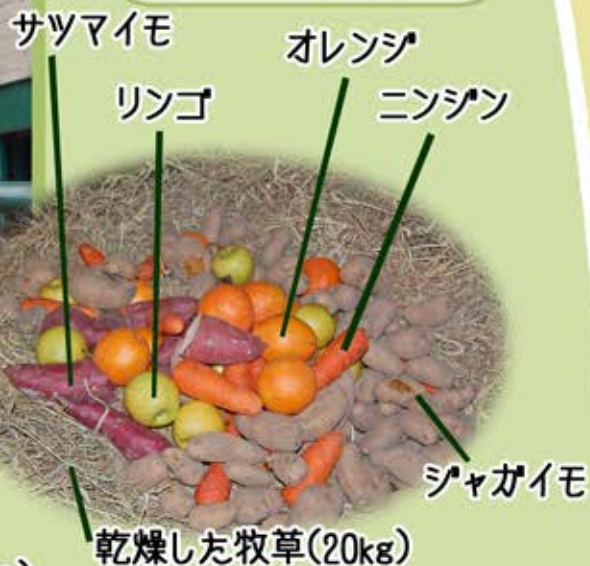
1996年に千葉市動物公園で生まれ、3才のときに東北サファリパークからやってきました。現在はメスのリボンと子ども们的スカイと一緒に暮らしています。



インドゾウの場合



ズームアップ!! 総重量約60kg!!



大型草食獣用のペレット(10kg)



動物園で1番
たくさんのエサを
食べる「ナナ」は



食事はいつも
部屋の中
入ってから



小さなエサでも
鼻をつかって
「もーぐ もーぐ」

ズームアップ!! 動物たちの食事

アメリカビーバーの場合



その場で食べるよりも…



多くの場合、安心な
室内まで運んで
から食べます。



忘れてはいけないのが…
「ヤナギの枝」です!

主に樹皮を食べますが、葉や
枝の細い部分はそのまま全部食べます!
さすがは丈夫な歯をもつビーバーですね。



(左) 食べる前の枝

(右) 皮を食べた後

ビーバーがきれいに
食べた後の枝は、
園内の看板
などに利用
しています。

よ〜く見ると、ビーバーの
歯型も確認できますよ!

牧草が加わったり
季節や体調によって
メニューは変わります。



ある夏の日のメニュー
少し後で見にくると…



サツマイモやオレンジなど
ナナの大好きな食べ物から
先になくなっていきます。

エゾフクロウの場合



ヒヨコ(オスだけ)

採卵鶏のメスのヒヨコは、卵を
産むために成鳥まで育てられ
るので、動物園にエサとしてや
って来るヒヨコはオスだけです。

鳥には「くちばし」があり
ますが、「歯」はないので
噛むことはできません。

エゾフクロウは、丸飲みできないエサは足で
押さえて、鋭いくちばしでちぎって食べます。

